

当院における NCCN 超高リスク前立腺癌に対する手術治療の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

NCCN リスク分類における超高リスク前立腺癌は予後が悪いとされており集学的治療が必要とされています。当院では2013年3月のda vinci導入以降、2025年4月までに2000例を超えるRARPを施行しているハイボリュームセンターではありますが、集学的治療の一つとして超高リスク前立腺癌に対するRARPも施行しております。今回これまでの超高リスク前立腺癌に対して行われたRARPの治療成績を纏め、治療の効果検証を行います。手術前後での診療記録を収集しPSA再発率などを検証します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2019年1月から2025年4月までに当院でRARPを施行した患者さんのうち、術前評価で超高リスク前立腺癌に分類された方が対象です。

使用する試料・情報

年齢、基礎疾患の有無、PSA値、病理結果、術後から治療開始までの期間など
使用開始予定日：2025年10月16日

研究予定期間

2025年10月16日～2026年4月30日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 泌尿器科 岡 保伸

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 岡 保伸

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)